



両併2区の公民館に設置された太陽光発電設備と設置を喜ぶ住民ら—白水村

太陽光発電 公民館屋根に

白水村両併

阿蘇郡白水村両併に新築された両併二区公民館の屋根にこのほど、太陽光発電設備が完成した。公民館内の電力を賄うほか、余剰分は九州電力に売電する。九電大津営業所によると、公民館との余剰電力受給契約は管内では初めて。

環境保全のシンボル

余剰分は売電管理費へ

施設導入は、同区(大津勇区長)の

津勇区長)の

大津区長(小)は「太陽

津勇区長)の
大津区長(小)は「太陽
ん(三)を愛梨さん(三)夫妻
が計画。工藤直行さん
金五が中心となって実現
した。設置費の約二百万
円は、村が「ふるさと創
生一億円」を基金として
運用していた一部を取り
崩して実施している「ま
ちづくり活動支援事業」
の全額補助を受けた。
屋根に並んだ太陽電池
で発電した電気は、照明
や合併浄化槽に必要な電
力を賄う。余った電力は、
九電の電気料と同価格で
買い取られる。「月二、
三千円ほどの収入になる
と思う。公民館の合併浄
化槽の維持管理費などを
賄えると思います」と工
藤さん。

大津区長(小)は「太陽
光発電は、省エネで環境
にやさしい。今の時代に
あった公民館ができた
と思う」と満ち足りた
思いを話した。工藤さ
んは、地球の資源は有限。
エネルギー問題はそれぞ
れの人が、持ち場持ち場
で考える必要がある。公
民館の太陽光発電が、そ
のシンボルになれば」と
話していた。